

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 埋立部の管中混合固化処理工の開始

トピックス

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事では、現在、埋立外周護岸の捨石マウンドが既成し、現在、その背後に中仕切堤工（断面図参照）を24時間施工で進めています。

上記中仕切堤工の進捗に併せ、外周護岸部に作用する土圧の低減および護岸背面沈下の抑制を図るため、外周護岸と中仕切堤の間に管中混合固化処理土の打設を10月21日から護岸・埋立IV工区において開始しました。

管中混合固化処理工は、従来、別途処分する必要があった軟弱な浚渫土（原泥）へ固化材（セメント）を添加し強度を上げることにより、軽量の埋立材として有効利用できる工法です。浚渫土（原泥）を空気圧送船により揚土する際に、固化材供給船から固化材を添加し、圧送管内で発生するプラグ流*1による乱流効果を利用して浚渫土と固化材を攪拌混合し、打設船に搭載されたポンプにより打設を行います。また、大型空気圧送船が使用できるので、大量急速施工（約9,800m³/日/船団）が可能となります。

本工事では、護岸安定のために行われる沖側護岸前面の床掘置換及び第一航路移設で発生した浚渫土を原泥として活用し、管中混合固化処理工を進めていきます。

10月21日から第一船団（TOTRAⅢ，CP-3600，野分）、10月23日から第二船団（風神，龍田丸，77扇栄）、さらに11月10日から第三船団（博洋，シガル，関翔）を投入し、全3船団で24時間での施工を実施する予定です。

*1 プラグ流(気液二相流)：空気圧送過程で生じる軟質土と空気の交互の流れのこと。

平成20年10月21日

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室	こばやし きふね むらおか 小林・貴船・村岡
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階	
電話 03-5756-6577	
HP http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/	

●管中混合固化処理工

- ・圧送管内でプラグ流を利用して軟泥と固化材の混練りを行う工法。
- ・従来土捨場などに処分されていた軟弱な浚渫土を再利用することが出来る。



